

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成25年8月1日(2013.8.1)

【公開番号】特開2012-179477(P2012-179477A)

【公開日】平成24年9月20日(2012.9.20)

【年通号数】公開・登録公報2012-038

【出願番号】特願2012-145523(P2012-145523)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 Z

【手続補正書】

【提出日】平成25年6月14日(2013.6.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

縦長矩形形状の外枠と、

前記外枠の前面一側に軸支されて開閉自在に設けられた本体枠と、

前記本体枠内に収められ、遊技領域が形成された遊技板部と、

前記遊技領域が視認可能とされる開口窓部を有し、前記本体枠に対して開閉自在に設けられる前面扉枠と、

前記遊技領域に設けられる始動口に遊技球が入球されたことに基づいて大当たりについての抽選処理を行う遊技制御装置と、

前記遊技制御装置により前記大当たりが当選されたときに開放される大入賞口に遊技球が入球されたことに基づいて当該大入賞口への遊技球の入球数に応じた分だけの遊技球を遊技者に払い出す払出制御装置と、

前記遊技制御装置による抽選処理の結果が遊技者に示されるように画像図柄が複数列にて変動表示演出される表示面を有する演出画像表示装置と、

前記抽選処理が行われたとき、前記画像図柄についての変動表示演出にかかる演出制御を行う演出制御装置と、を備え、

前記遊技板部は、

前記演出画像表示装置、及び前記演出制御装置、及び前記遊技制御装置が各々取り付けられた 1 つの遊技演出制御ユニットとして、前記本体枠に対して着脱可能に設けられてなるものであり、

前記遊技演出制御ユニットが前記本体枠に装着されたときの前記遊技制御装置に対する電源ラインは、前記本体枠側に設けられている前記払出制御装置との間の情報授受ラインと共有された主ドロワコネクタによって前記遊技制御装置と前記払出制御装置とが電氣的に接続されることによって形成されてなり、

前記演出制御装置は、前記画像図柄についての変動表示演出にかかる演出制御のほか、前記前面扉枠に設けられている複数種の枠側演出装置の駆動にかかる演出制御を行うものであって、前記遊技演出制御ユニットが前記本体枠に装着されたときの前記演出制御装置と前記複数種の枠側演出装置との間の駆動信号ラインは、副ドロワコネクタによって前記演出制御装置と前記複数種の枠側演出装置とがまとめて電氣的に接続されることによって形成されてなり、

前記主ドロワコネクタのうちの前記遊技演出制御ユニット側に設けられるユニット側主ドロワコネクタ、及び前記副ドロワコネクタのうちの前記遊技演出制御ユニット側に設けられるユニット側副ドロワコネクタを、前記遊技演出制御ユニットの後面側にて後方を向くようにそれぞれ固定配置するとともに、前記主ドロワコネクタのうちの前記本体枠側に設けられる枠側主ドロワコネクタ、及び前記副ドロワコネクタのうちの前記本体枠側に設けられる枠側副ドロワコネクタを、前記遊技演出制御ユニットが前記本体枠に装着されるときのユニット側主ドロワコネクタ及びユニット側副ドロワコネクタとそれぞれ対向する位置にて前方を向くように固定配置することによって、前記本体枠に前記遊技演出制御ユニットが装着されるだけで前記ユニット側主ドロワコネクタ及び前記ユニット側副ドロワコネクタと、前記枠側主ドロワコネクタ及び前記枠側副ドロワコネクタとがそれぞれ直接接続されるようにしたものであって、

前記ユニット側主ドロワコネクタ及び前記枠側主ドロワコネクタが接続される部分と、前記ユニット側副ドロワコネクタ及び前記枠側副ドロワコネクタが接続される部分とはそれぞれ金メッキが施されている

ことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の遊技機において、

遊技者が操作可能な操作ハンドルがさらに設けられてなり、該操作ハンドルの操作に応じて前記遊技領域に遊技球が打ち込まれる遊技機。

【請求項 3】

前記操作ハンドルは、前記前面扉枠にて設けられてなる

請求項 2 に記載の遊技機。